

目次

1	TraceXtra-Pro ソフトウェア	1
1.1	説明.....	1
1.2	システム要件	1
2	インストール.....	2
2.1	TraceXtra-Proのインストール.....	2
2.2	TraceXtra-Proを起動する	3
3	ネットワーク検査機器の場合.....	4
3.1	操作画面の説明	4
3.2	検査機と接続する	5
3.3	TraceXtra-Proに検査結果をダウンロードする.....	6
3.4	検査結果の選択方法.....	7
3.5	ユーザー情報を入力する.....	8
3.6	検査結果をbinary (.bin) ファイルとして保存する	10
3.7	binary(.bin) fileを開く（又はロード）する	11
3.8	検査結果を PDF file として出力する	12
3.9	検査結果の印刷	13
3.10	検査結果を削除する.....	14
3.11	接続機器を変更する.....	14
3.12	トラブルシューティング.....	15
4	ケーブル検査 機器の場合.....	16
4.1	操作画面の説明	16
4.2	ケーブル探査機器を接続する	18
4.3	TraceXtra-Proにトレース結果をダウンロードする	19
4.4	トレース結果の選択.....	20

4.5	ユーザー情報を入力する	21
4.6	トレース結果をbinary (.bin) ファイルとして保存する	24
4.7	保存した結果をbinary(.bin) fileから開く（又はロード）する	25
4.8	TraceXtra-Proから トレース結果を機器にアップロードする.....	26
4.9	トレース図形のプロットイング	27
4.9.1	トレースを個別で確認する	27
4.9.2	トレースを比較する.....	28
4.9.3	ライブトレース.....	30
4.9.4	ライブトレースのみを行う	30
4.9.5	ライブトレースの比較.....	32
4.10	プロットされたトレース結果を削除する.....	34
4.11	プロットされたトレース図形をPDFファイルで出力.....	35
4.12	プロットされたトレース図形を印刷する.....	36
4.13	結果を削除する	37
4.14	接続機器を変更する.....	37
4.15	トラブルシューティング.....	38

TraceXtra-Pro ソフトウェア

1.1 説明

このマニュアルは、TraceXtra-Pro ソフトウェアのインストール、設定、アプリケーションなどを含めたすべての説明が掲載されています。このソフトウェアは、ネットワーク検出器と TDR ケーブル・テスト機器の両方に対応しており、検査結果は、接続された USB ポートを介して対応するすべての機器からソフトウェアにダウンロードできます。さらに、TDRケーブルテスターの場合、TraceXtra-Proが保存したテスト結果を関連機器に転送し直すことも可能です。また、TraceXtra-Proは、結果の出力としてバイナリ(.bin)またはPDF(.pdf)もサポートしています。

TraceXtra-Proではバイナリファイルを開くことができ、バイナリファイルに含まれる結果はTraceXtra-Proに再読み込みすることができるので、探査結果のより効率的な管理に役立てます。また、エクスポートした PDF ファイルに会社名、ロゴ、住所、備考などの情報を記載して、カスタマイズしたレポートを作成することもでき、印刷機能を用いてエクスポートしたPDFファイルと同じレイアウトで結果を直接印刷することができます。

特にTDRケーブルテスターでは、ダウンロードした結果（トレース）を比較する機能や、装置の画面をTraceXtra-Proの表示画面にキャストするライブトレース機能を搭載しています。

システム要件

必要スペック：

プロセッサー：Pentium 3 500MHz or AMD K6

必要RAM：512MB

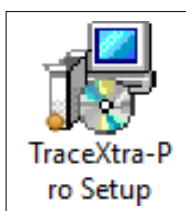
OS: Windows 7, Windows 8, Windows 10

その他：PDF reader (such as Adobe Reader, Microsoft Edge) Serial Port

2 インストール

2.1 TraceXtra-Proのインストール

- ① 下図のアイコンをダブルクリックし、インストーラーを起動します。
(Windowsの設定によっては管理者権限が必要になる場合があります)



- ②画面の説明に従ってインストールを行います。
※NEXTを選択し続けた場合、標準の設定でインストールが完了します。
標準時のインストールは
C:¥Program Files (x86)¥B I Communications¥TraceXtra-ProSetupに行われます。

- ③インストールが完了するとこのようなアイコンがデスクトップ画面に表示されます



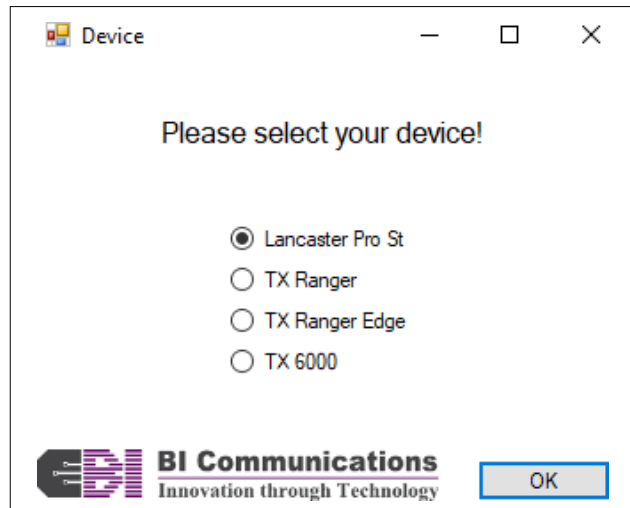
備考：TraceXtra-Proには、NET4.5以上のライブラリが必要です。

そのため、Windowsシステムは、公式ウェブサイトから.NET4.5を自動的にダウンロードし、.NETライブラリをインストールするためにWindowsシステムを更新する必要がある場合があるので、その際はWindowsシステムのアップデートを許可してください。

2.2 TraceXtra-Proを起動する

デスクトップ上にあるTraceXtra-Proのアイコンをダブルクリックするか、プログラムのメニューから選択して起動します。（ menu : Start > Programs > TraceXtra-Pro）

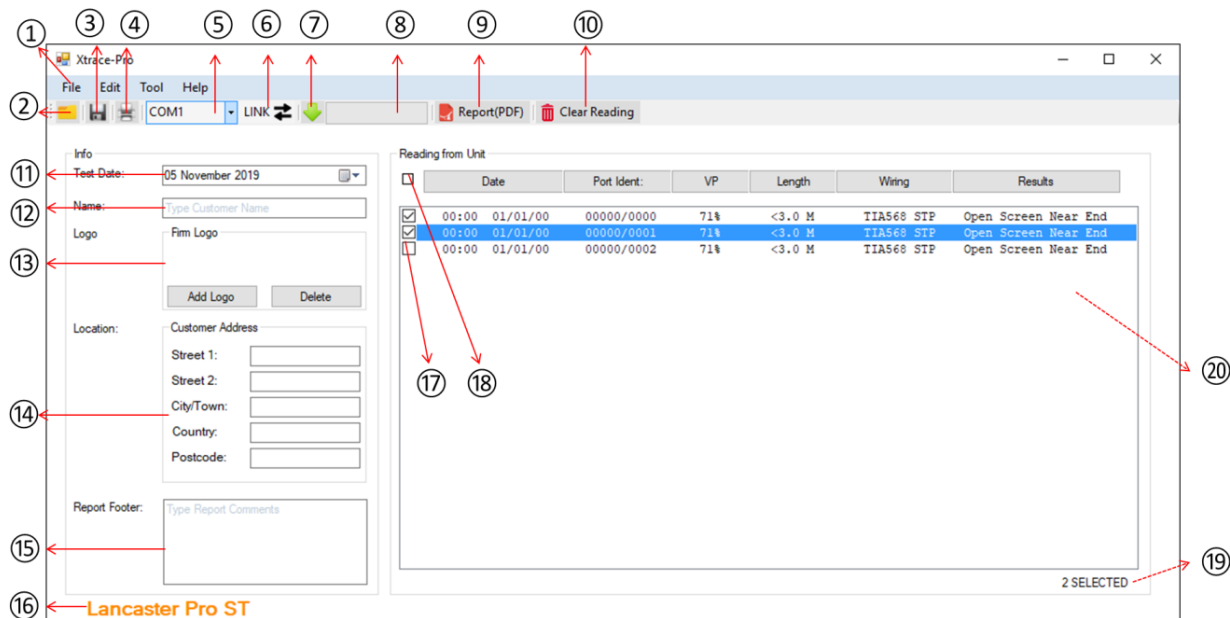
図のようにデバイスのリストが表示されます：



デバイスのモデルに応じて、適切なデバイスを選択し、「OK」をクリックします。リストアップされている機器は、ネットワーク検査機器とケーブル検査機器の2種類に分類されます。ネットワーク検出機器については、セクション3をご覧ください。ケーブルテスト機器については、セクション4に進んでください。

2.3 ネットワーク検査機器の場合

2.4 操作画面の説明

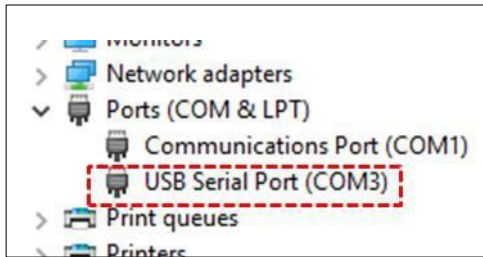


- ①メニューバー
- ②Binary(.bin)ファイルの読み込み（又はロード）
- ③選択したテスト結果をbinary(.bin)ファイルとして保存
- ④ 選択したテスト結果の印刷
- ⑤COMポートの選択欄
- ⑥選択したCOMポートをリンクする
- ⑦ 検査結果のダウンロード
- ⑧ ダウンロードの進捗状況(ネットワーク検査機器では使用しません)
- ⑨選択したテスト結果をPDFファイルとして出力
- ⑩ 表示されたすべてのテスト結果の消去
- ⑪日付の選択欄
- ⑫会社名を入力欄
- ⑬ 会社のロゴを追加する（画像ファイル）
- ⑭ 会社の所在地の入力欄
- ⑮ コメントの入力欄
- ⑯選択されたデバイスの名称
- ⑰ 検査結果の選択/選択解除
- ⑱表示されている全テスト結果の選択/選択解除
- ⑲選択されたテスト結果の数
- ⑳検査結果の一覧表

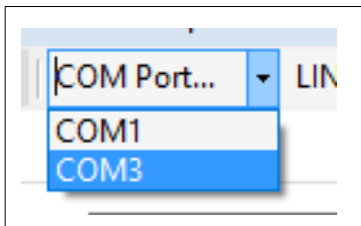
2.5 探査機と接続する

機器を選択したら先ず通信をするために接続を行います。

- a. USBケーブルをPCに接続し、 "デバイスマネージャー "でお使いの機器を表す正しいCOMポートが表示されていることを確認してください。



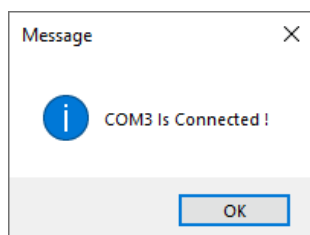
- b. コンボボックス (⑤) をクリックして目的のCOMポートを探します。
(通常、USBケーブルを接続した際に表示されたものがお使いの機器のCOMポートです)



- c. "Link" ボタン(⑥)をクリックするか、ショートカットキーのF4 を押下し、
選択したCOMポートと接続します



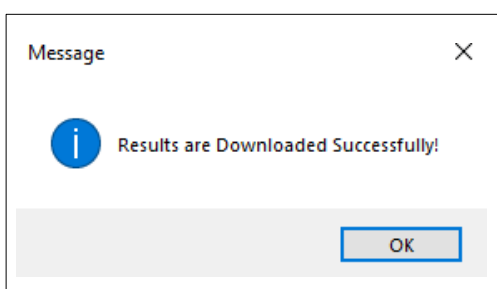
- d. 図のような表示が出現するのでOKを押して接続を完了します。



2.6 TraceXtra-Proに検査結果をダウンロードする

ダウンロードを行う前に、正しいCOMポートが接続されていることを確認してください。（3.2項参照）

- a. 本体の "Menu "ページで "Full download. "を実行します。
（詳細は機器の取扱説明書をご覧ください。）
- b. (⑧)で進捗状況を確認します。バーが満たされていれば、ダウンロードが進行していることを意味します。
- c. メッセージボックスが出現するのでOKを押してダウンロードを完了します。



⑩で検査結果を確認します。

Reading from Unit

<input type="checkbox"/>	Date	Port Ident:	VP	Length	Wiring	Results
<input type="checkbox"/>	00:00 01/01/00	00000/0000	71%	<3.0 M	TIA568 STP	Open Screen Near End
<input type="checkbox"/>	00:00 01/01/00	00000/0001	71%	<3.0 M	TIA568 STP	Open Screen Near End
<input type="checkbox"/>	00:00 01/01/00	00000/0002	71%	<3.0 M	TIA568 STP	Open Screen Near End

Time and date
when the test
was taken

Port address

Cable VP

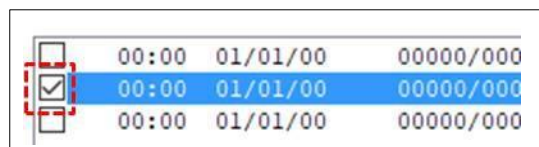
Length to fault

Wiring type

Result

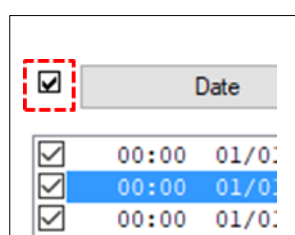
2.7 検査結果の選択方法

表の左側のチェックボックスを選択して検査結果を個別に選択します(⑰)



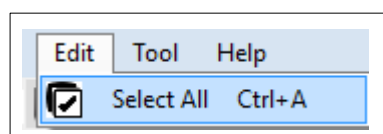
<input type="checkbox"/>	00:00	01/01/00	00000/000
<input checked="" type="checkbox"/>	00:00	01/01/00	00000/000
<input type="checkbox"/>	00:00	01/01/00	00000/000

画面左上の(⑱)のチェックボックスを選択すると表示されたすべての検査結果を一括選択もできます。



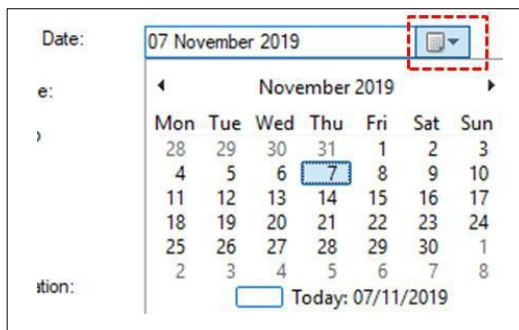
<input checked="" type="checkbox"/>	Date
<input checked="" type="checkbox"/>	00:00 01/0:
<input checked="" type="checkbox"/>	00:00 01/0:
<input checked="" type="checkbox"/>	00:00 01/0:

または、 menu > edit > select all若しくは“Ctrl + A”.で検査結果をすべて選択することができます。



2.8 ユーザー情報の入力

- a. (⑪) をクリックしてカレンダーを開き、日付を選択し“extend”を押して決定します。



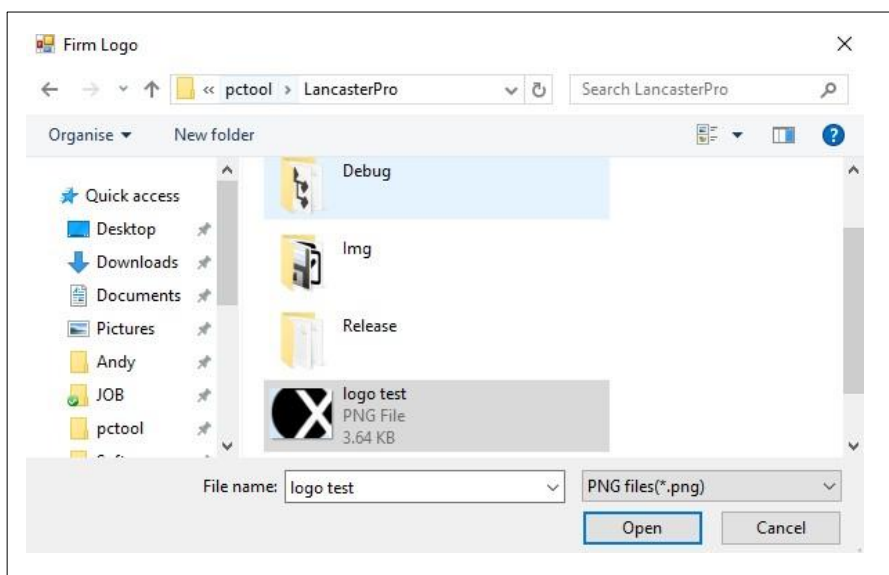
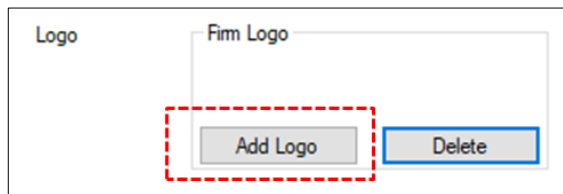
注：デフォルトの日付は、ローカルシステムの日付と同じです

- b. (⑫)の枠内に会社名を入力します。

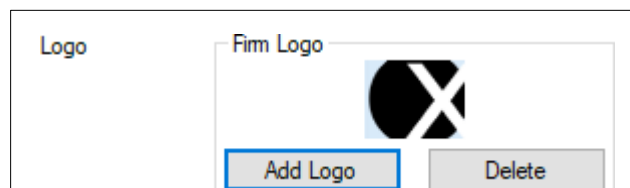
Name:

注：この名前は、出力したPDFファイルや印刷した文書のタイトルとして表示されます。不要な場合は、スペースを入力して下さい。

- c. 会社のロゴを挿入します
- d. (⑬)のAdd Logoをクリックし、出現したポップアップから画像ファイル(.png .jpg .jpeg .bmp)を選択します。



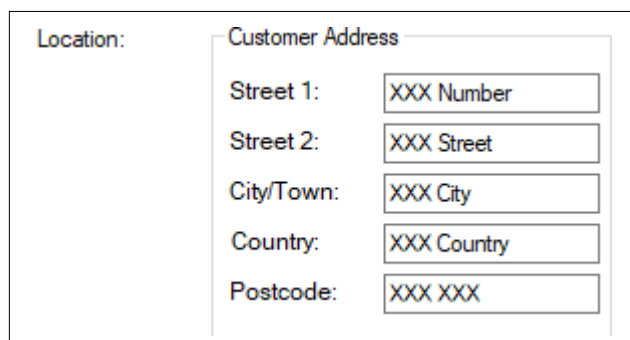
Openを押すとロゴのプレビューが枠内に表示されるようになります。



ロゴの画像を変更したい場合は、「削除」ボタンをクリックした後、「ロゴの追加」ボタンをクリックして、別の画像ファイルを選択してください。

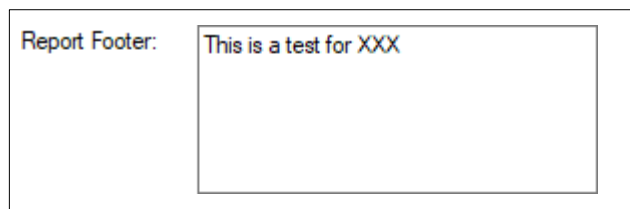
備考：このロゴは、エクスポートされたPDFファイルと印刷されたドキュメント上で前のステップで記入された会社名の代わりになります。
不要な場合、入力はありません。

e. (14)の枠内に会社の所在地を入力します。



備考：この住所は、エクスポートしたPDFファイルや印刷したドキュメントのタイトルの下に表示されます。不要な場合は、この部分を空白にしておいてください。

a. (15)の枠内にコメントを入力します。



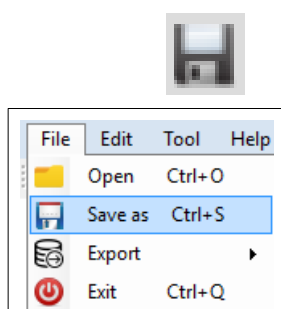
備考：コメントは、エクスポートしたPDFファイルや印刷した文書の最後に表示されます。不要な場合は、スペースを入力してください。

1.2 検査結果を (.bin) fileとして保存する

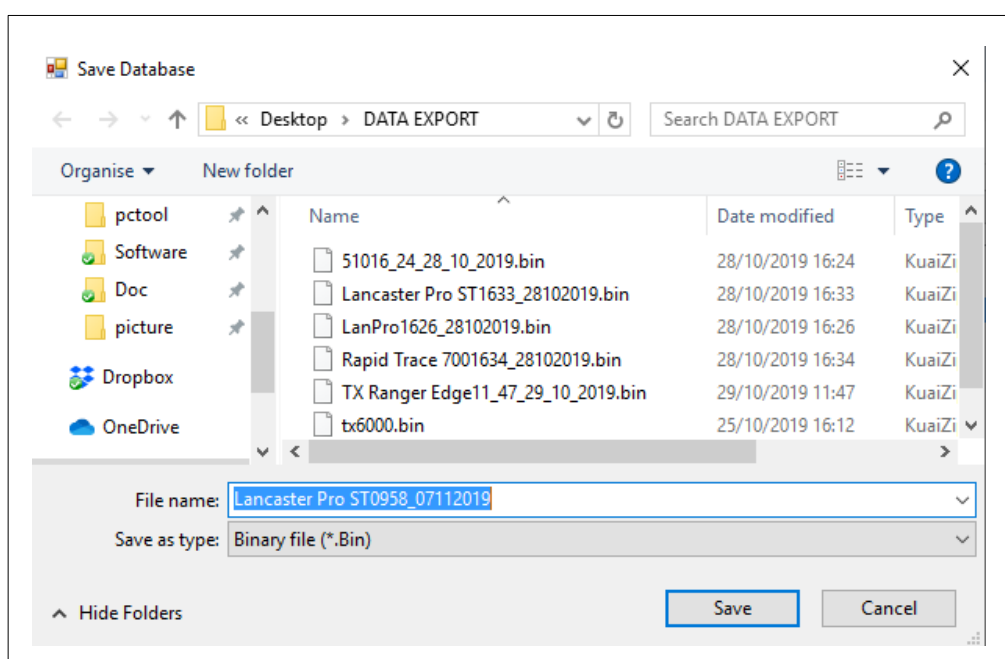
a. 保存する検査結果を選択します(3.3項を参照)

“Save as” ボタン(③)をクリックします。

menu bar > file > save asをクリックするかショートカットキーの“Ctrl + S”でも可能です。



b. 表示されたポップアップから保存先と名前を確認します。



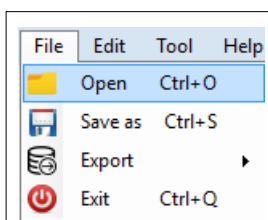
保存先やファイルの名称（※デフォルトではデバイス名とファイルが作成された時間）は任意で変更できます。“Save”をクリックして保存は完了です。

1.3 binary(.bin) fileを開く（又はロード）する

- a. “Open” ボタン(②)をクリックします。

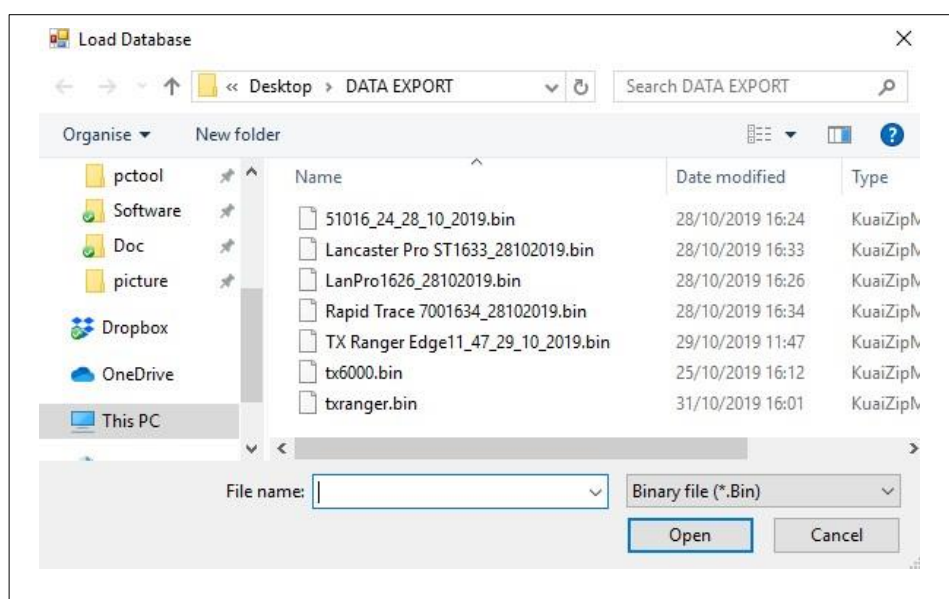


menu bar > file > openをクリックするかショートカットキーの
“Ctrl + O”.でも可能です。



開くBinary(.bin)ファイルをポップアップから選択します。

注：開くバイナリ(.bin)ファイルは、TraceXtra-Proで選択したのと同じデバイスで作成されたものであることを確認してください。

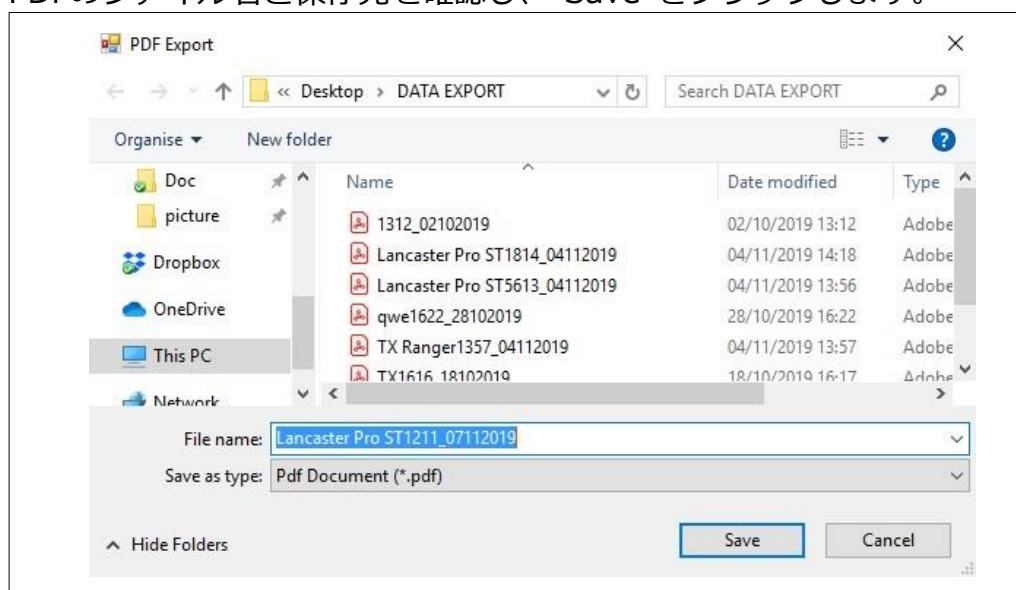


1.4 検査結果をPDFとして出力する

- 出力する検査結果を選択します (3.3項を参照).
- 情報を入力します(3.5項を参照).
- “report as PDF” ボタンをクリックします(⑨)

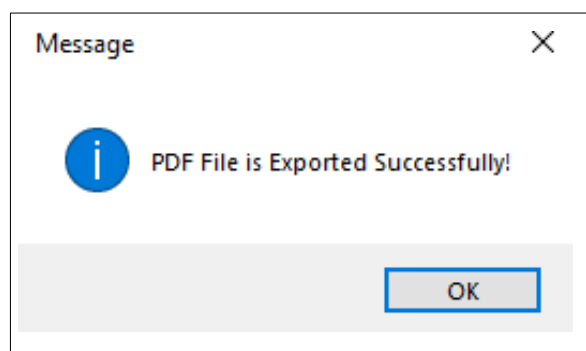


PDFのファイル名と保存先を確認し、"Save"をクリックします。



保存先やファイルの名称（※デフォルトではデバイス名とファイルが作成された時間）は任意で変更できます

- ポップダイアログからOKを選択して完了しま

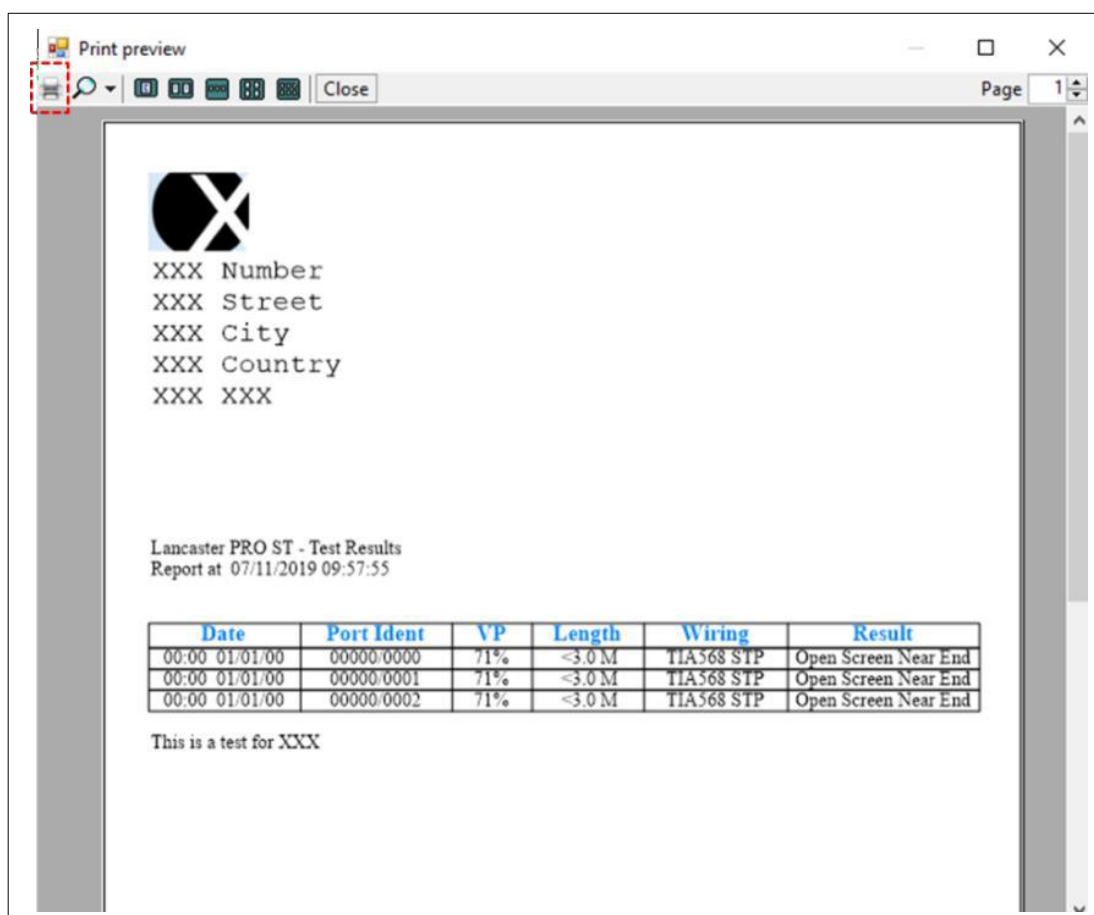


1.1 検査結果の印刷

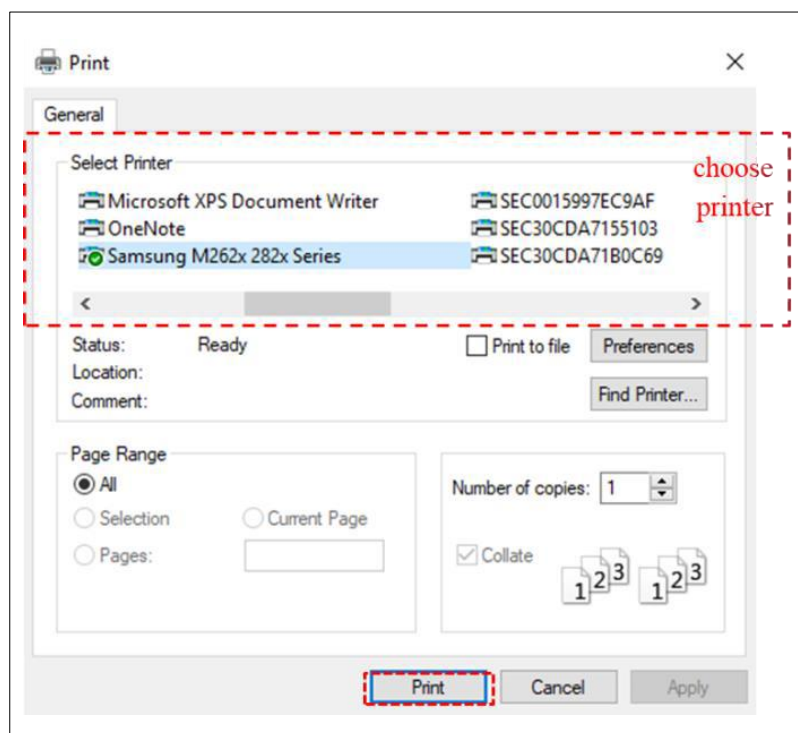
- 印刷する検査結果（3.3項参照）を選択します。
- 情報を入力します(3.5節参照)
- 印刷ボタン(④)をクリックします



- 印刷プレビューページを確認し、印刷ボタン をクリックしてリンクされたプリンターを選択します

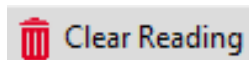


- プリンターを選択して、"Print "をクリックします。



1.2 検査結果を消去する

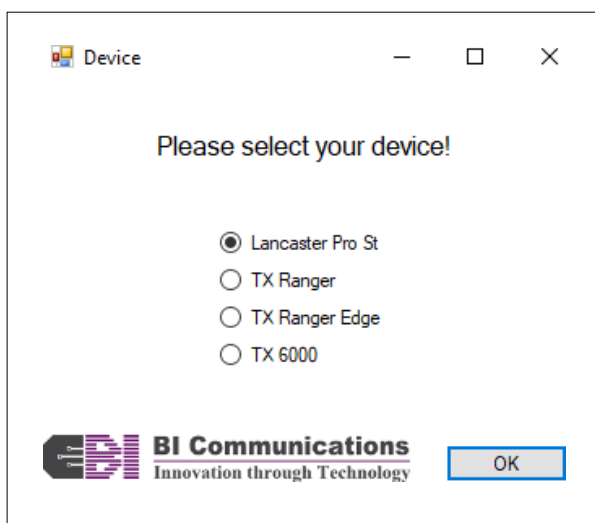
ゴミ箱のボタン(⑩)をクリックします。



表示している 検査結果やTraceXtra-Proのデータベースが消去されます。

1.3 接続機器を変更する

- メニューバーの「Tool」から「Device Selection」を選択するか、ショートカットの "F6 "をおします
- 表示されたダイアログから、目的のデバイスを選択します。



1.4 トラブルシューティング

Q1: ネットワーク試験機でフルダウンロードを実行しましたが、プログレスバー(⑧)空欄のままで、他の箇所にも変化はありません。

回答：

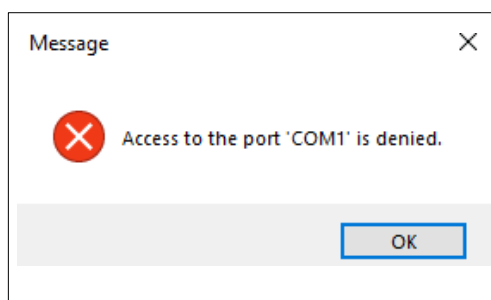
1. PCと計測器のUSB接続を確認してください。
2. デバイスマネージャー（3.2項参照）を使って、パソコンから測定器のCOMポートが検出されているかどうか確認してください。COMポートに？マークがついている場合は、そのポートを右クリックし、「ドライバーの更新」をクリックしてください。
3. (⑤) で正しいCOMポートが選択されているか確認してください。
4. “Link” ボタン (⑥) をクリックして、選択したCOMポートとTraceXtra-Proが接続されているか確認してください。

Q2: ダウンロード中にプログレスバー(⑧)が動かなくなり、1分以上前に進まなくなりました。

回答：

1. 更に30秒ほどお待ちください。読み込む検査結果が多いほど時間がかかる場合があります。
2. プログレスバー(⑧)が止まったままで、TraceXtra-Proで何も起こらない場合は、ダウンロードしたデータが壊れていて、データ形式が間違っている可能性があります。binボタン(⑩)をクリックしてデータベースを消去し、再度お使いの機器で「フルダウンロード」を行ってください。

Q3: 選択したCOMポートに接続しようと「リンク」ボタン(⑥)をクリックすると、次のようなメッセージボックスが表示されます。



2 ケーブル検査機器の場合

2.1 操作画面の説明



①メニューバー

②バイナリ（.bin）ファイルから結果をオープン（ロード）する結果をバイナリ（.bin）ファイルとして保存する

③表示されているトレースを印刷する

④COM ポートの選択欄

⑤選択した COM ポートを接続する

⑥トレースのダウンロード

⑦ダウンロード／アップロードの進捗状況

⑧プロットされたトレース図形を

⑨データベース内の全てのトレースを消去 PDF ファイルとして出力

⑩日付を選択するカレンダー

⑪会社名を入力欄

⑫会社のロゴ（画像）を入力する

⑬会社の住所の入力欄

⑭コメントの記入欄

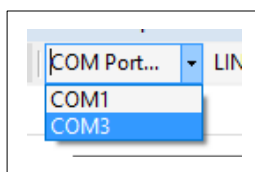
- ⑮ 選択したケーブルテスト機器の名称の記入欄
- ⑯ 全てのトレース結果を選択・解除
- ⑰ 個別のトレース結果を選択・解除
- データベースに登録されている全てのトレース結果の一覧
- ⑲ プロットされたトレースの情報プロットされたトレースの情報
- ⑳ プロットされたトレースの範囲
- ㉑ 選択したトレース結果をプロットするためのピクチャーボックス
- ㉒ 選択したトレース結果の番号
- ㉓ カーソル位置を調整するスクロールバー
- ㉔ 選択したトレース結果のプロット
- ㉕ ピクチャーボックスの初期化
- ㉖ 選択したトレース結果を接続している機器にアップロードする
- ㉗ ライブトレースを有効にするボタン
- ㉘ ライブトレースの設定用のパラメータ

2.2 ケーブル検査機器を接続する

- 3 機器を選択したら先ず通信をするために接続を行います。
- 4 a.USBケーブルをPCに接続し、 "デバイスマネージャー "でお使いの機器を表す正しいCOMポートが表示されていることを確認してください。



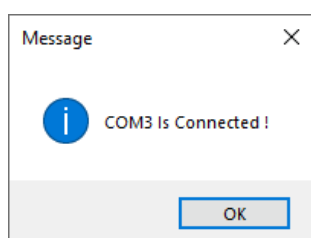
コンボボックス (⑤) をクリックして
目的のCOMポートを探します。(通常、USBケーブルを接続した際に表示されたものがお使いの機器のCOMポートです)



- C. "Link" ボタン(⑥)をクリックするか、ショートカットキーのF4を押下し、選択したCOMポートと接続します



- d. 図のような表示が出現するのでOKを押して接続を完了します。



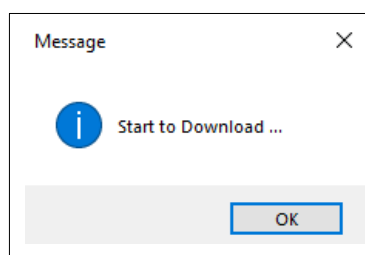
4.1 TraceXtra-Proにトレース結果をダウンロードする

ダウンロードを行う前に、正しいCOMポートが接続されていることを確認してください（3.2項参照）。

- a. ダウンロードボタンを押します。

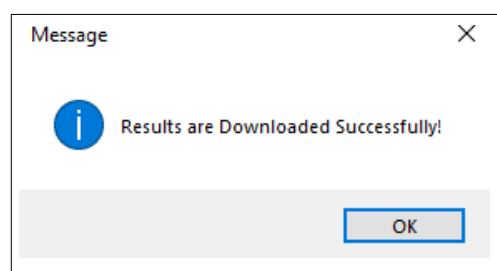


- b. メッセージボックスが出現するのでクリックを押します。

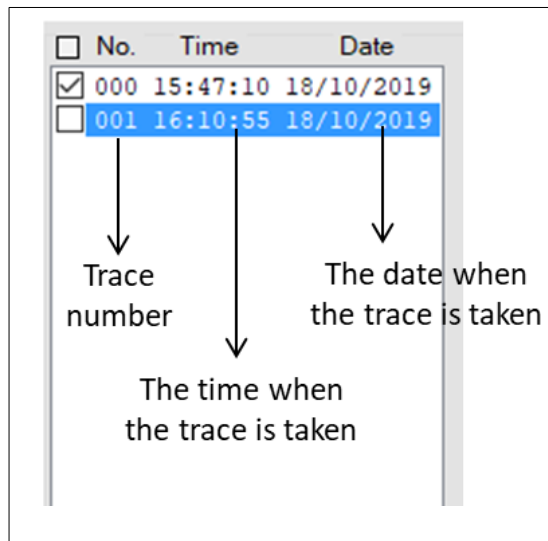


- c. 進捗状況を示すバー(⑦)を確認してください。進捗に応じてバーが満たされていきます。

- d. 再びメッセージボックスが出現するのでOKをクリックします

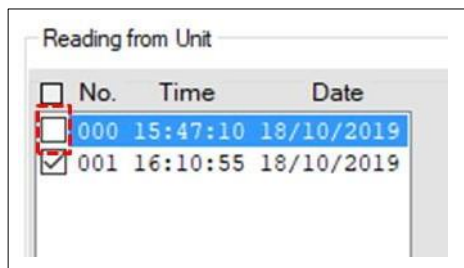


- e. (⑱)からトレース結果をご確認ください。

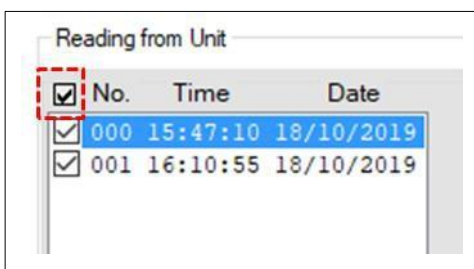


1.1 トレース結果の選択

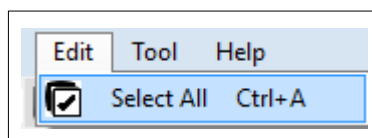
トレース結果の一覧表の左側にあるチェックボックス(⑰) をクリックして個別に選択を行えます。



または、左上のチェックボックス(⑱)で表示されている結果を全て選択できます




MenuのEditからSelect Allをクリックするかショートカットの“Ctrl + A”からでも一括選択が可能です。



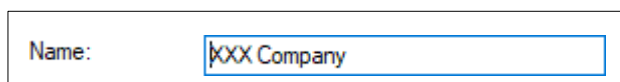
1.2 ユーザー情報の入力

- a. (⑩)をクリックしてカレンダーを開き、日付を選択し“extend”を押して決定します。



(注：デフォルトの日付は、ローカルシステムの日付と同じです)

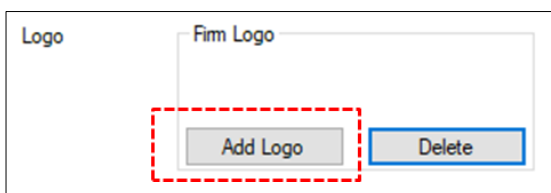
- b. (⑪)の枠内に会社名を入力します。

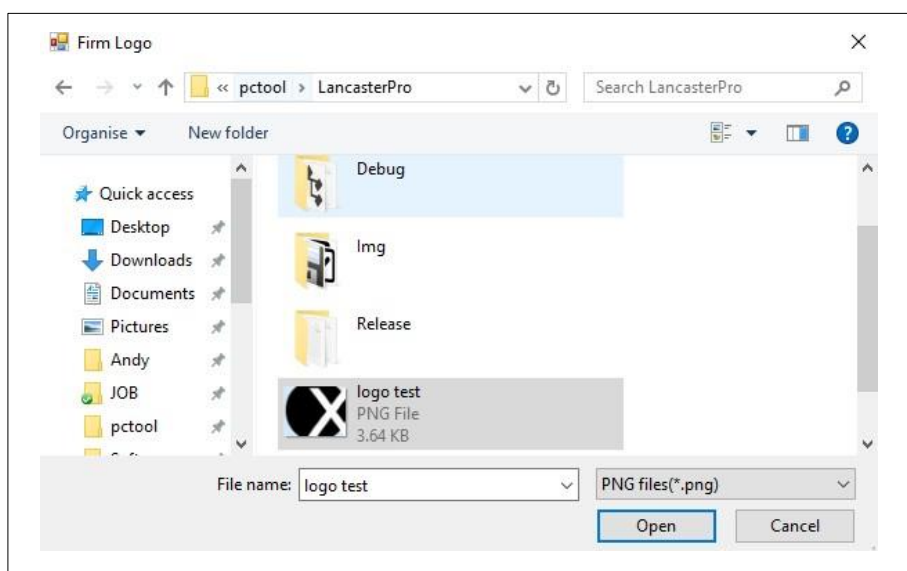


注：この名前は、出力したPDFファイルや印刷した文書のタイトルとして表示されます。
不要な場合は、スペースを入力して下さい。

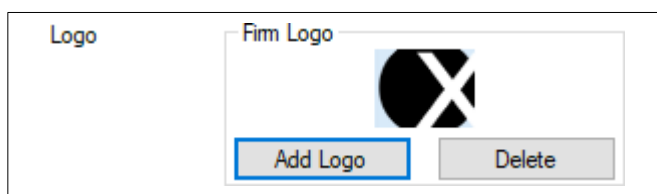
- e. 会社のロゴを挿入します

(⑬)のAdd Logoをクリックし、出現したポップアップから画像ファイル
(.png .jpg .jpeg .bmp)を選択します。





Openを押すとロゴのプレビューが枠内に表示されるようになります



ロゴの画像を変更したい場合は、「削除」ボタンをクリックした後、「ロゴの追加」ボタンをクリックして、別の画像ファイルを選択してください。

備考：このロゴは、エクスポートされたPDFファイルと印刷されたドキュメント上で前のステップで記入された会社名の代わりになります。不要な場合、入力が必要ありません。

a. (⑬)の枠内に会社の所在地を入力します。

Location:	Customer Address
Street 1:	XXX Number
Street 2:	XXX Street
City/Town:	XXX City
Country:	XXX Country
Postcode:	XXX XXX

備考：この住所は、エクスポートしたPDFファイルや印刷したドキュメントのタイトルの下に表示されます。不要な場合は、この部分を空白にしておいてください。

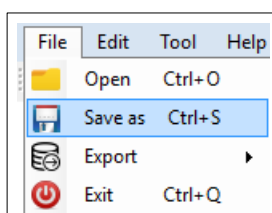
f. (⑭)の枠内にコメントを入力します。

Report Footer:	<div>This is a test for XXX</div>
----------------	-----------------------------------

備考：コメントは、エクスポートしたPDFファイルや印刷した文書の最後に表示されます。不要な場合は、スペースを入力してください。

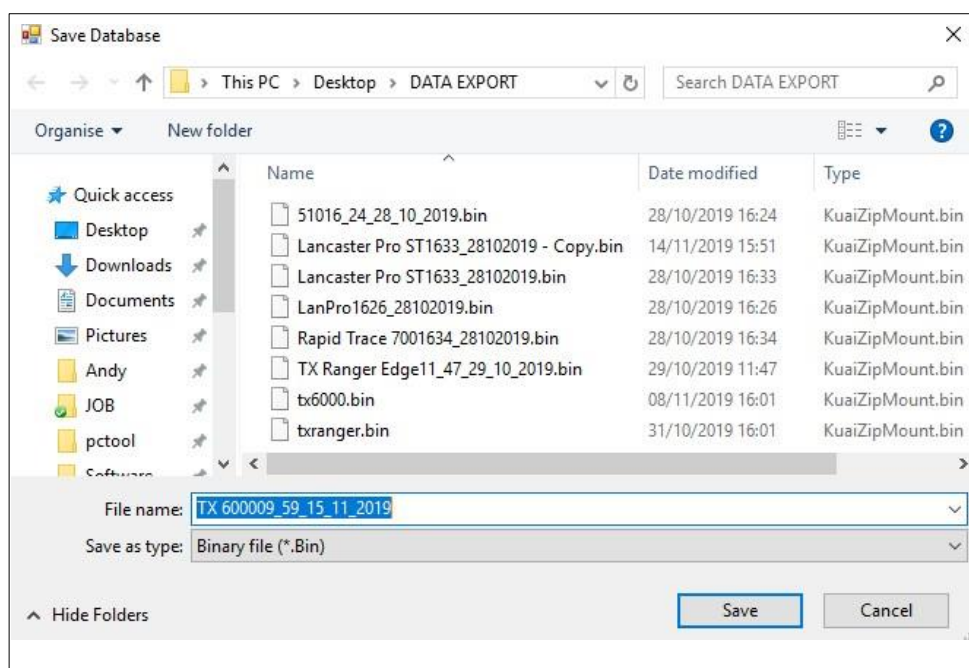
4.2 トレース結果をbinary (.bin) fileとして保存する

- a. トレース結果を選択します(4.4項を参照)
- b. “保存ボタン(②)を押すかショートカットキー (Ctrl + S) を押します。



メニューバーのFileからSave asでも可能です。

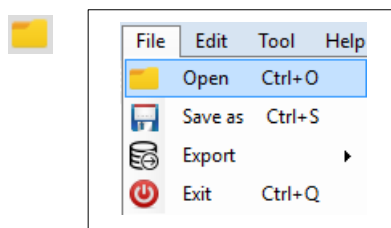
- c. 表示されたポップアップから保存先と名前を確認します。



保存先やファイルの名称（※デフォルトではデバイス名とファイルが作成された時間）は任意で変更できます。"Save"をクリックして保存は完了です。

1.1 保存した結果をbinary(.bin) fileから開く(又はロード)する

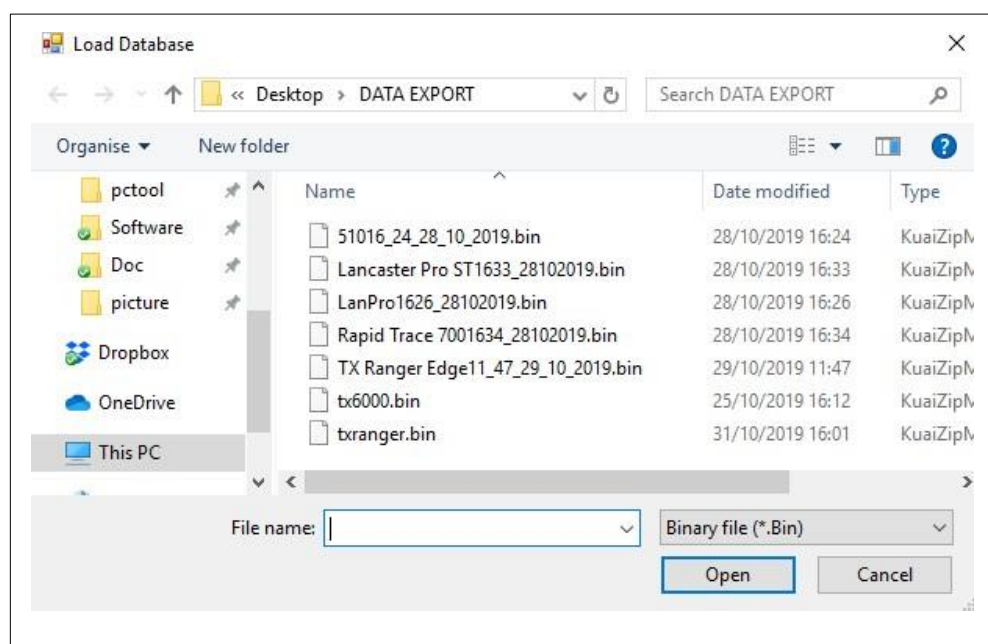
- a. ファイルのアイコン (①)をクリックするか、ショートカット (Ctrl + O) を押します。



または、メニューバーからFile→Openを選択します。

- b. 開くBinary(.bin)ファイルをポップアップから選択します

注：開くバイナリ(.bin)ファイルは、TraceXtra-Proで選択したのと同じデバイスで作成されたものであることを確認してください

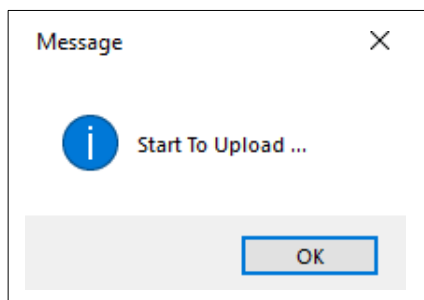


1.3 TraceXtra-Proからトレース結果を機器にアップロードする

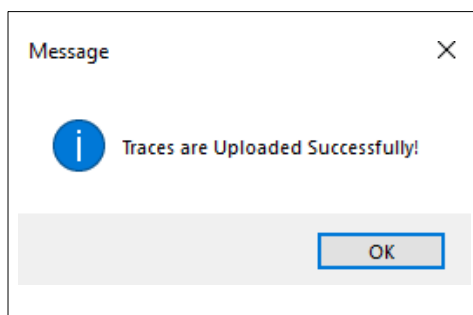
- a. アップロードするトレース結果を選択します（4.4項を参照）
- b. “Trace Upload” ボタン(㉔)をクリックします。

Trace Upload

- c. メッセージボックスが表示されるのでOKをクリックし、アップロードを開始します。



- d. 進捗状況を示すバー(㉗)が進捗に応じて満たされていきます。
- e. 再度メッセージボックスが表示されるのでOKをクリックして完了します。

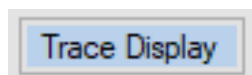


1.4 トレース図形のプロットिंग

結果一覧表(⑱)に保存されているトレース結果を“個別モード”又は“トレース比較モード”でピクチャーボックス(㉑)にプロットすることができます。

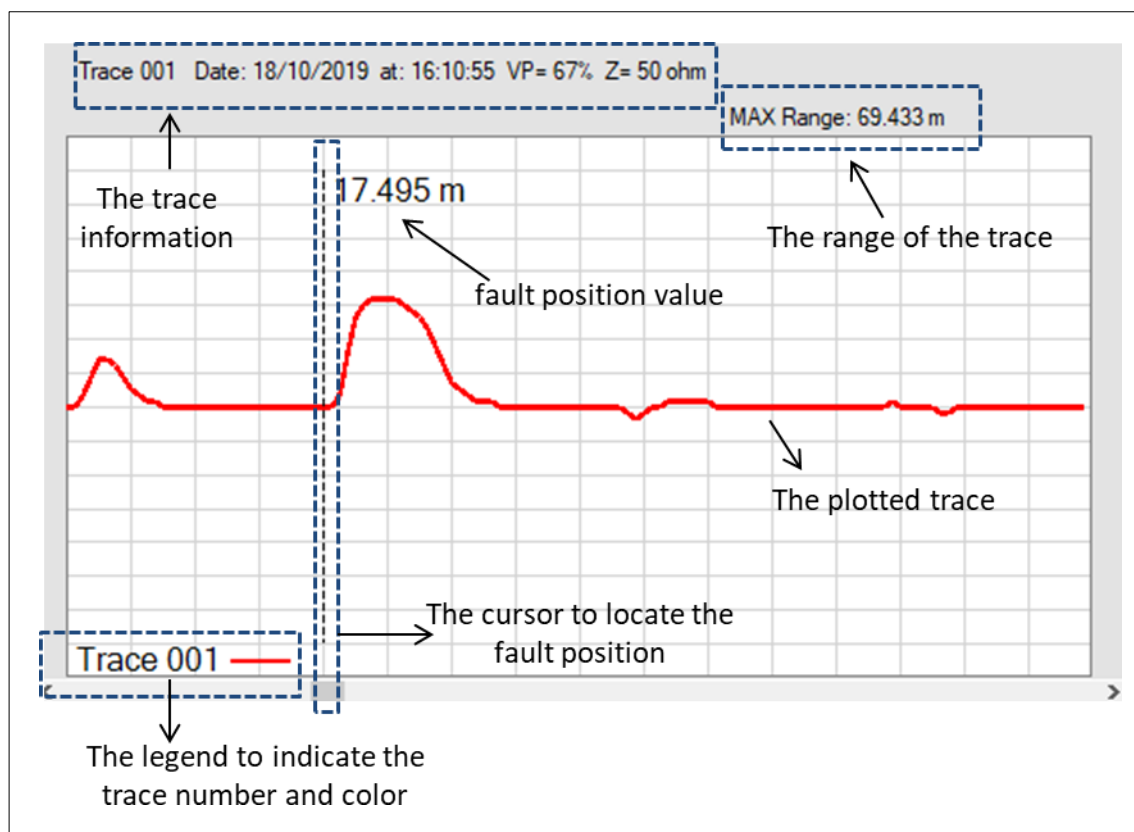
トレースを個別で確認する

- a. 図式化したいトレース結果を一つ選択します(4.4 項を参照).



- b. “Trace Display” ボタン(㉔)をクリックします

- c. ピクチャーボックスにトレースがプロットされるので確認します

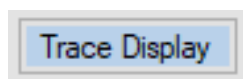


- d. カーソルの移動方法 :

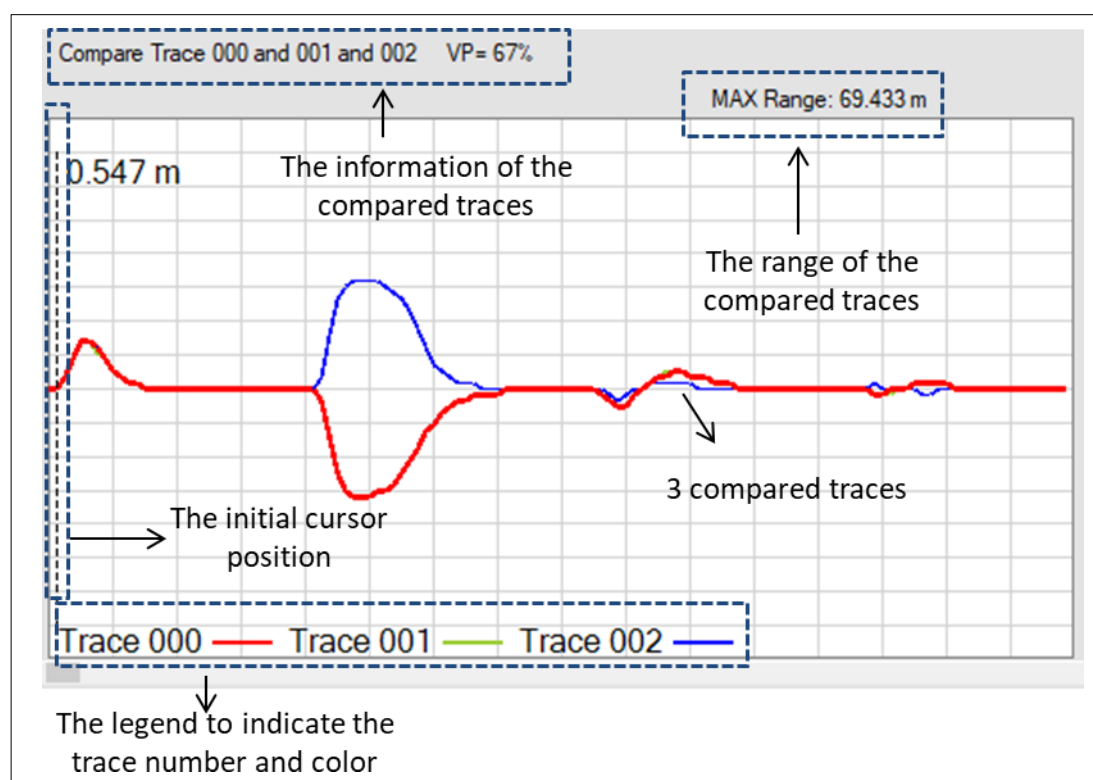
マウスの矢印がピクチャーボックス(㉑)内にある場合、マウスホイールをスクロール、またはスクロールバー(㉒)を水平方向にドラッグすることでカーソルを移動させることができます。

4.9.2 トレースを比較する

- 2 つまたは 3 つのトレース結果を選択します（4.4 項を参照）。
(注：選択されたトレース結果は、同じ VP と範囲である必要があります。)
- “Trace Display” ボタン(㉔)をクリックします



- ピクチャーボックス(㉑)にトレースがプロットされるので確認します



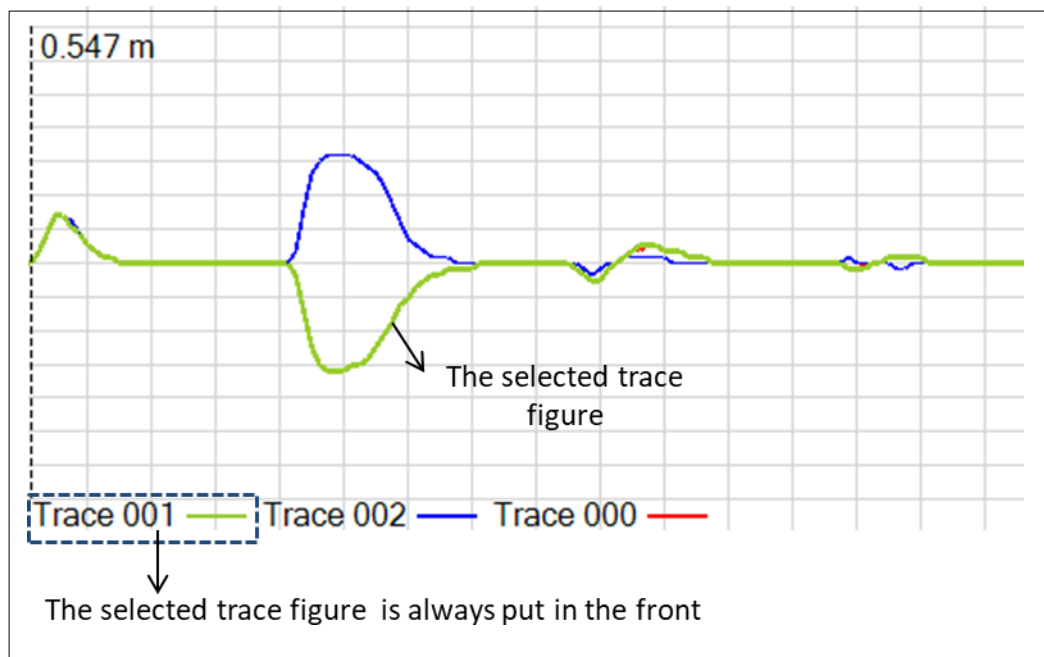
- カーソルの移動方法：

マウスの矢印が画像ボックス(㉑)内にある場合、マウスホイールをスクロール、またはスクロールバー(㉓)を水平方向にドラッグすることでカーソルを移動させることができます

- トレースの図を選択する方法：

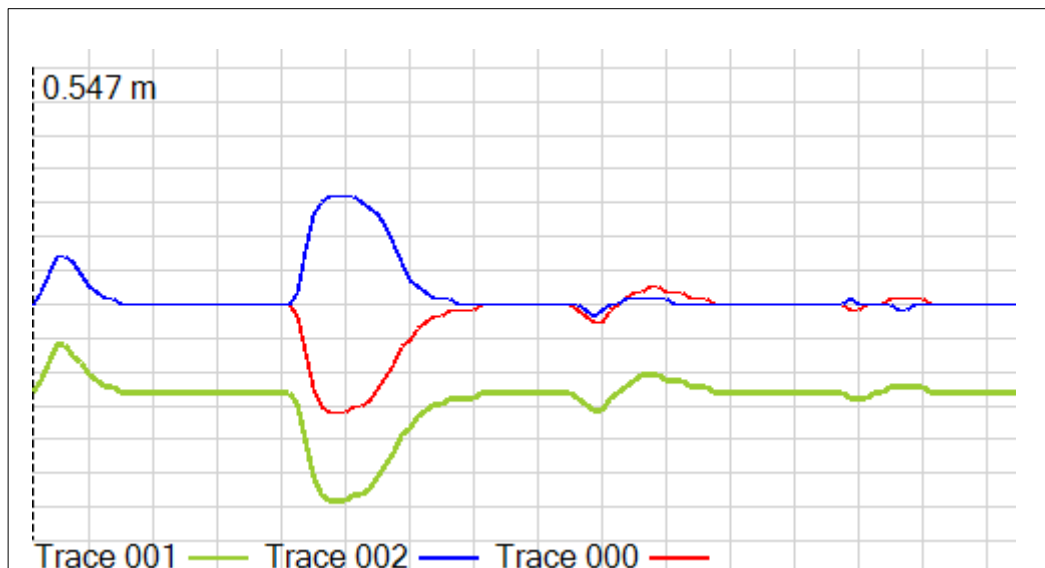
マウスのスクロールボタンをクリックすると、ピクチャーボックスにプロットされたトレース図形を選択することができます。

また、マウスのスクロールボタンを連続してクリックすることで、別のトレースに選択を切り替えることができ、選択されているトレース画像は、最も太い線幅でハイライト表示されます。



d. 選択したトレース図形のドラッグ&ドロップ

トレース図が重なって見えにくい場合などには選択したトレース図形をドラッグ&ドロップすることで、図を分離することができます。選択された（ハイライトされた）トレース上で、マウスの左ボタンを使ってドラッグ&ドロップします。



e. 移動した図を元に戻す

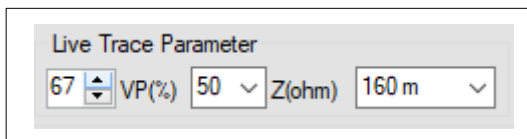
“Trace Display” ボタン(24)を再度押すことで初期位置にリセットされます。

1.5 ライブトレース

ライブトレース機能は、ライブトレースのみを行うモードとライブトレース比較モードの2つのモードがあります。ライブトレースを行う際には、オートシャントダウン機能を無効にしておくことを強くお勧めします。

4.10.1 ライブトレースのみを行う

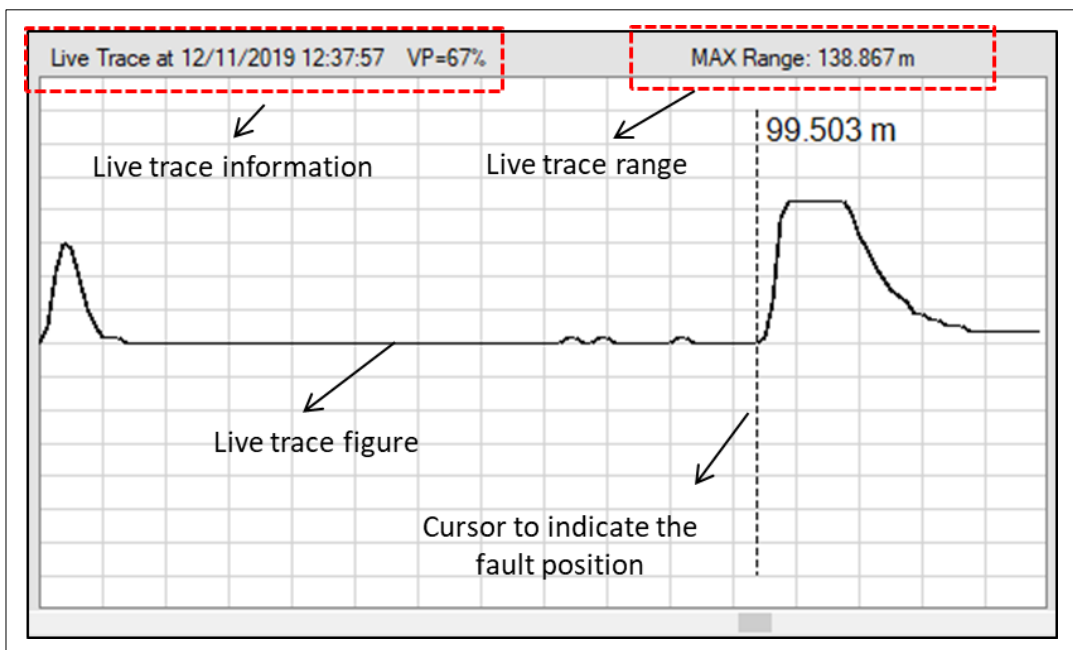
- 初めに、ライブトレースのパラメータ(28)のVP、インピーダンス、レンジの設定を行います。



- "Live Trace"ボタン(27) をクリックしてライブトレースを開始します



- ピクチャーボックス (21)にライブトレースの情報が表示されるのでご確認ください。



d. ライブトレースがONの状態、VP、インピーダンス、レンジを変更するライブトレースの最中でも上記のパラメーターは変更できます。

e. カーソルの移動方法：

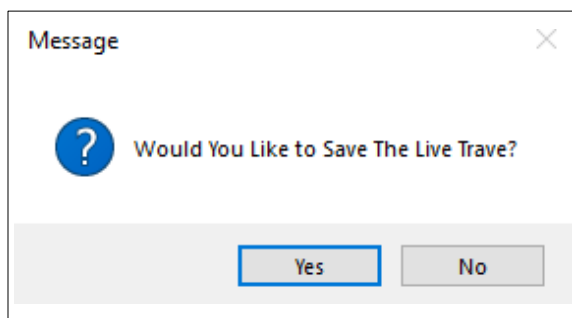
マウスの矢印がピクチャーボックス(㉑)内にある場合、マウスホイールをスクロール、またはスクロールバー(㉓)を水平方向にドラッグすることでカーソルを移動させることができます。

f. ライブトレースを終了し、結果を保存または破棄したい場合にはまずSTOPボタンをクリックします



するとメッセージボックスが表示されるのでYesボタンを押すと、現在のライブトレース図形がデータベースに保存されて結果一覧表(㉔)に加わりライブトレース機能は停止します。

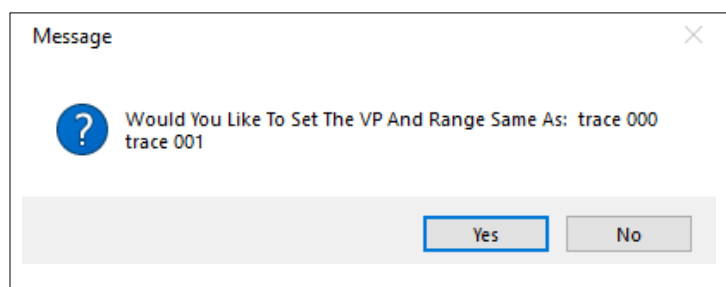
Noボタンをクリックすると、ライブトレース機能は停止し、保存は行われません。



4.10.2 ライブトレースの比較

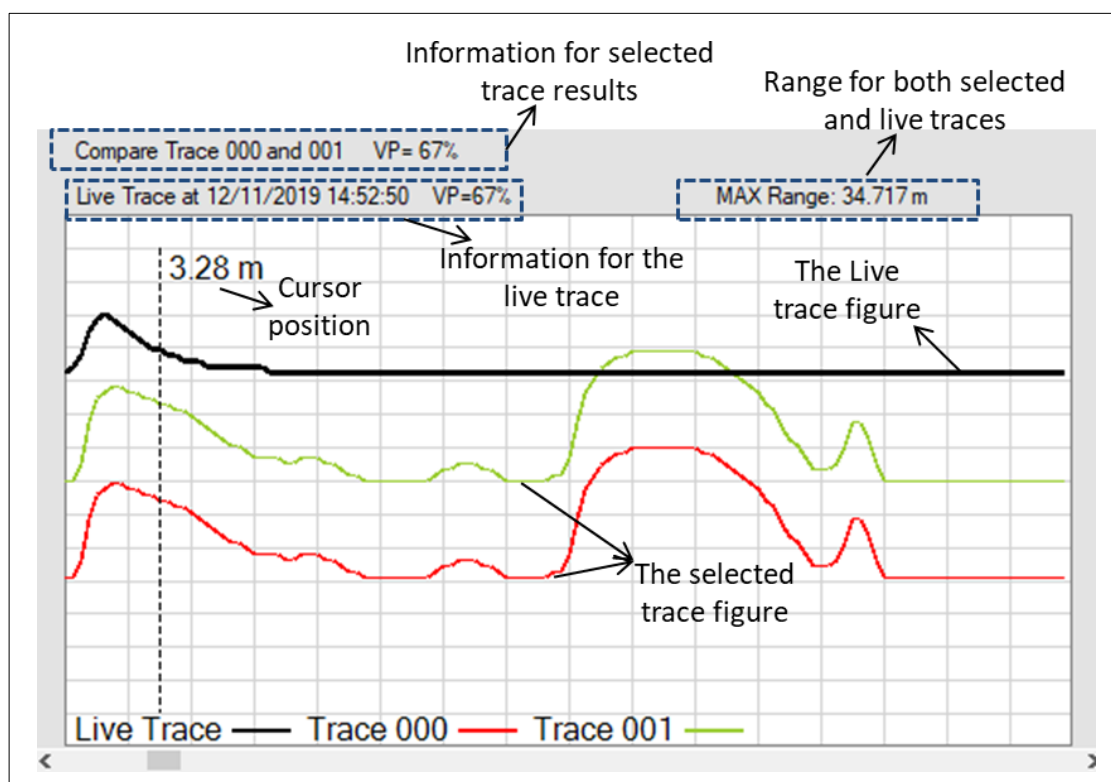
ライブトレース比較モードは、ライブトレースと結果一覧表 (18) で選択したトレース結果を比較するためのモードです。

- a. トレース比較モード (4.8.2 項参照) で、「ライブトレース」ボタン (27) をクリックします。すると、次のようなメッセージボックスが表示されます。

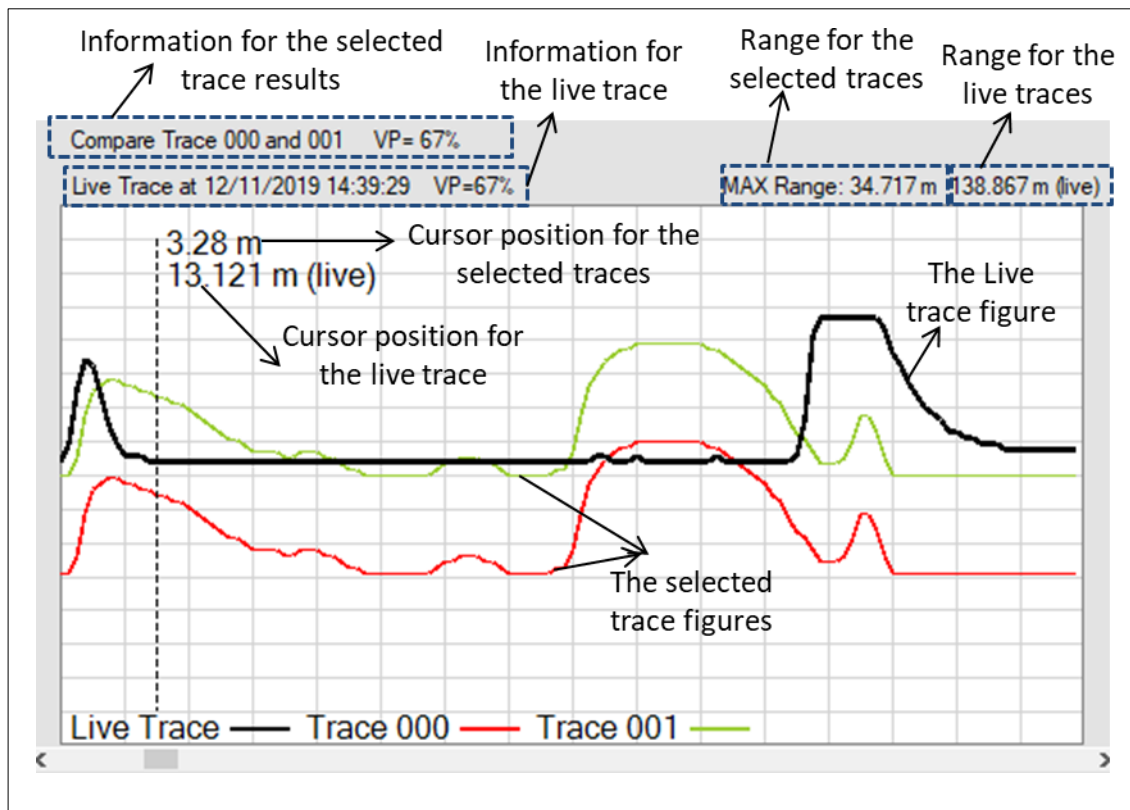


注：ライブトレースのパラメータ(VPとレンジ)が選択されたトレース結果と同じであれば、メッセージはポップアップせず、「ライブトレース」ボタン(27)をクリックするとすぐにライブトレース比較モードに入ります。)

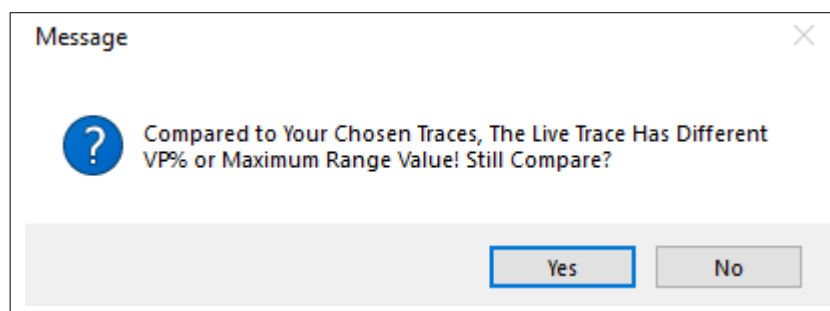
Yesボタンをクリックすると、ライブトレースを取得するための VP と範囲はプロットされたトレース結果と同じように設定され、ライブトレースはプロットされたトレース結果の上に、以下のように表示されます。



メッセージボックスの "No" ボタンをクリックすると、現在のライブトレースのパラメータ (⑳) に従って、ライブトレースが表示されます。そのため、選択されたトレースとライブトレースでは、それぞれ異なる範囲の値とカーソル位置が表示されます。



- b. ライブトレースのみを行うモード (4.10.1 参照) では、現在のライブトレースと比較するために、結果一覧表 (⑱) から2つまたは3つのトレース結果を選択することができます。(注意：現在のライブトレースと比較するために使用するトレース結果は、全て同じVPと範囲のものを選択してください)
- c. 選択したトレース結果同士のVP、範囲がライブトレースの設定のみと異なる場合、メッセージボックスが次のようにポップアップします。



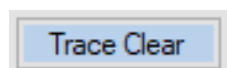
Yes "をクリックすると、選択したトレース結果が、2つの異なる範囲とカーソル位置の値を使って、ライブトレースと一緒に表示されます。

"No "をクリックした場合は、比較を行いません。

これにより、ライブトレース比較モードでは、マウスの矢印がピクチャーボックス (㉑) の中に入っているときに、マウスホイールをスクロールさせることでカーソルの移動ができるようになります。また、画像ボックス(㉑)内のトレース図形を選択して、別の位置にドラッグ&ドロップすることもできます (4.9.2項を参照)

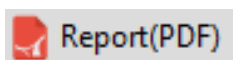
1.6 プロットされたトレース結果を削除する

Trace Clearボタン(㉕)を押すことでピクチャーボックス(㉑)内の図を削除できます。

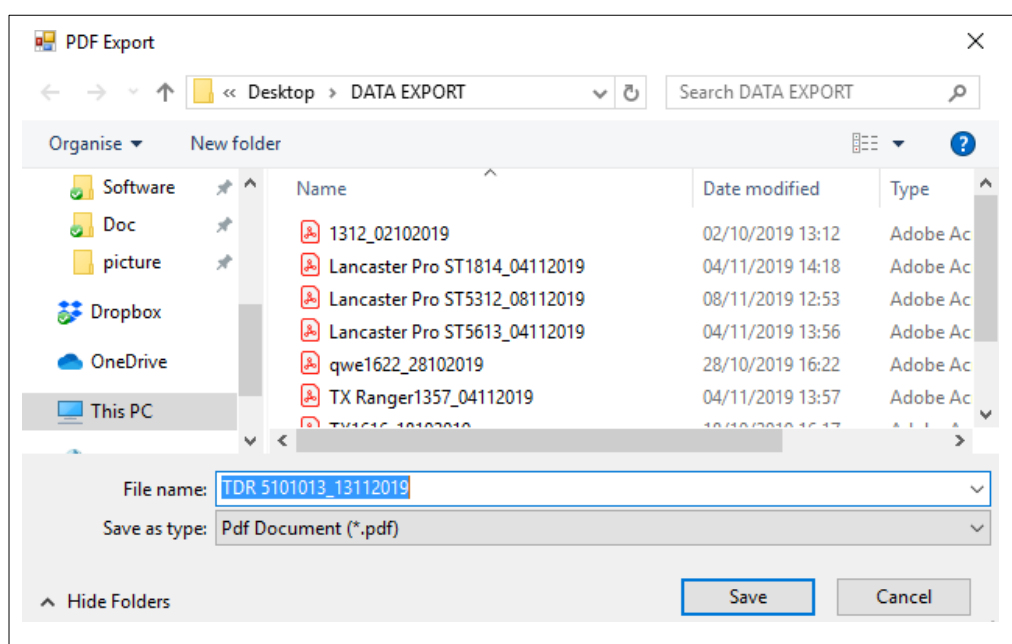


1.7 プロットされたトレース図形をPDFファイルに出力

- トレース結果をプロットティングします(4.9項を参照)
- 情報を入力します(4.5項を参照)
- “report as PDF” ボタン (⑧) を押します

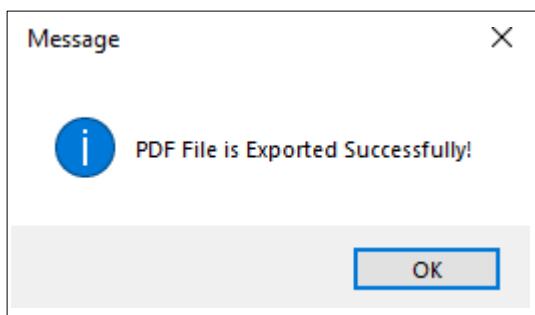


- PDFの名称と保存場所を確認し、“Save”をクリックします。



保存先やファイルの名称（※デフォルトではデバイス名とファイルが作成された時間）は任意で変更できます。

- ポップアップダイアログが表示されるのでOKを押します。



1.8 プロットされたトレース図形を印刷する

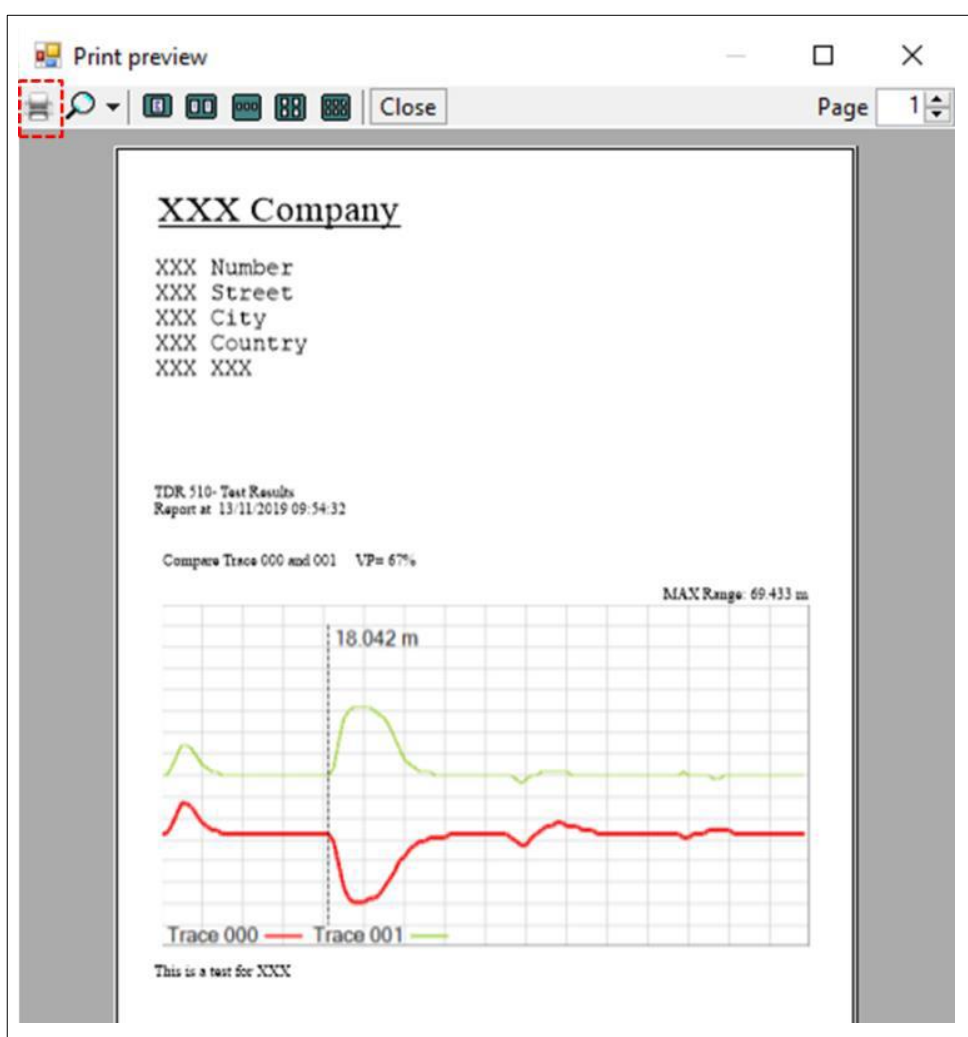
a. プリントしたいトレース図をプロットिंगします(4.9項を参照)

b. 情報を入力します(see section 4.5)

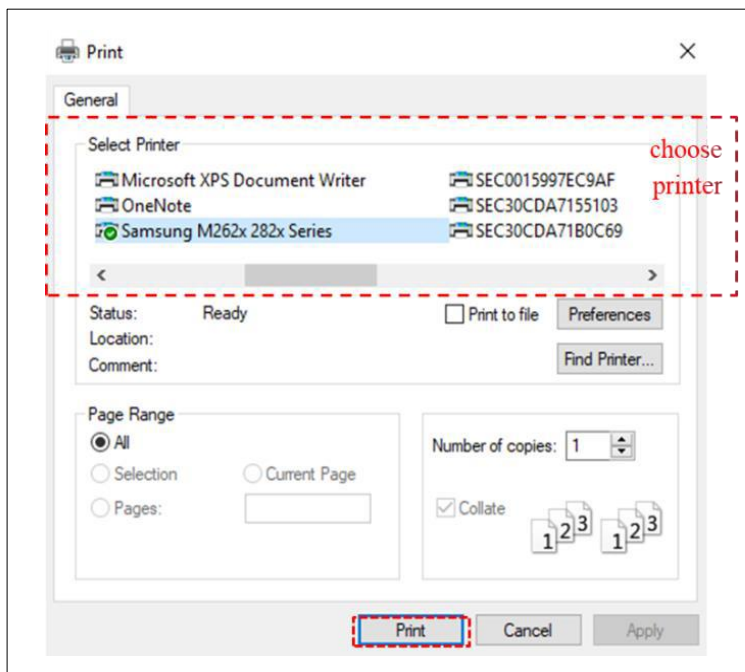


c. プリントボタン(③)を押します

d. プリントのプレビューを確認したらプリントボタンを押し、接続済みのプリンターを選択します

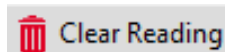


e. プリンターを選択したら“Print”を押すと印刷が開始されます。



1.9 結果を削除する

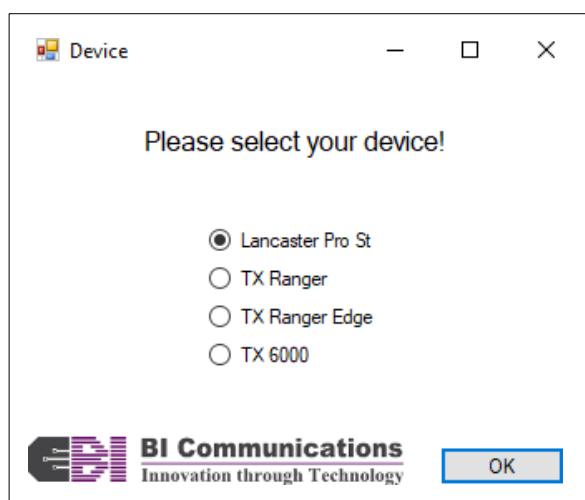
ゴミ箱のアイコン(㊟)をクリックします



表示している 検査結果やTraceXtra-Proのデータベースが消去されます。

1.10 接続機器を変更する

- メニューバーの「Tool」から「Device Selection」を選択、またはショートカットの "F6 "を押します。
- ポップアウトダイアログが表示されるので使用する機器を選択し、O Kを押してください。



1.11 トラブルシューティング

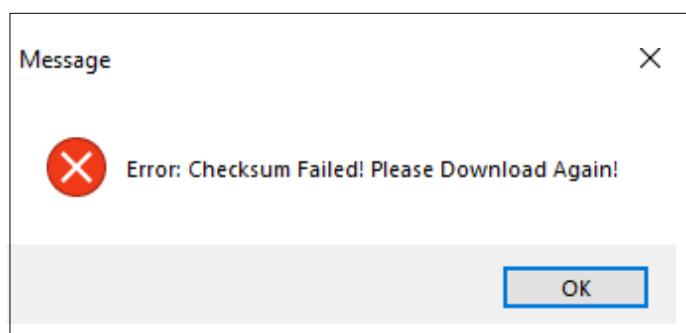
Q1: ダウンロードボタン(⑥)をクリックすると、「Start to Download…」というメッセージボックスがポップアップ表示されます。しかし、メッセージボックスの「OK」ボタンをクリックしても、プログレスバー(⑧)空欄のまま、他の箇所にも変化はありません。

Q2: ダウンロードボタン(⑥)をクリックすると、「Start to Download…」というメッセージボックスが表示され、メッセージボックスの「OK」ボタンをクリックすると、プログレスバー(⑦)が埋まり始めます。しかし、しばらくするとプログレスバー⑦が動かなくなり、他の箇所にも変化はありません。

回答：

1. PCと測定器のUSB接続を確認してください。
2. 正しいCOMポートが選択され、リンクされているか確認してください（4.2項参照）。
3. ケーブルテスト機器の画面にトレースが表示されているかどうかを確認してください。表示されている場合は、測定器のホームページに戻り、再度「ダウンロード」ボタン(⑥)をクリックしてください。
4. それでもうまくいかない場合は、一度機器の電源を切り、再度電源を入れた後、機器を再接続し（4.2項参照）、再度「ダウンロード」ボタン(⑥)をクリックしてください。

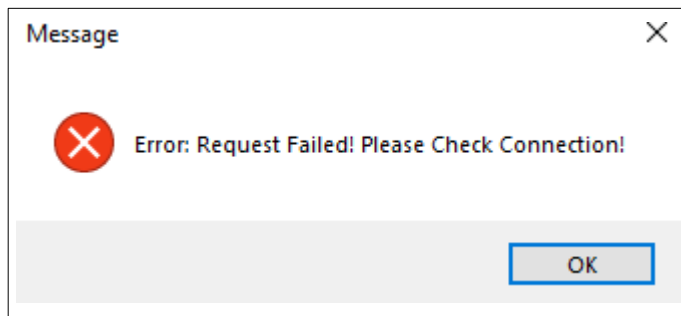
Q3: トレース結果をダウンロードしていると、プログレスバー(⑦)が動かなくなり、以下のようなメッセージボックスが表示されます。



回答

ダウンロードデータが一部壊れているため、再度ダウンロードボタン(⑥)をクリックしてください。

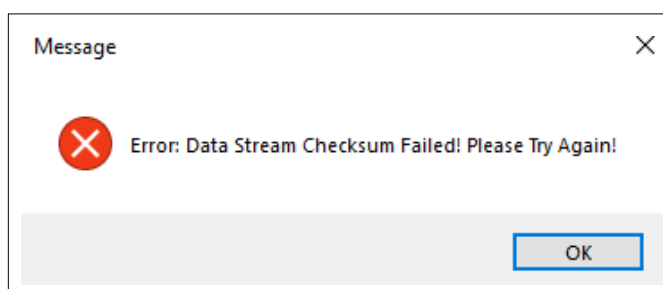
Q4: ライブトレースボタン(㊟)をクリックすると、以下のようなメッセージボックスが表示されます。



回答

- 1.メッセージの「OK」ボタンをクリックした後、再度「ライブトレース」ボタン(㊟)を押してみてください。3秒後に再びメッセージボックスが表示される場合は、以下の確認を行ってください。
- 2.PC と測定器の USB 接続を確認してください。
- 3.正しい COM ポートが選択され、リンクされているか確認してください（4.2 節参照）。
- 4.ケーブルテスト機器の画面にトレースが表示されているか確認してください。表示されている場合は、測定器のホームページに戻り、ライブトレースボタン(㊟)を再度クリックしてください。
- 5.それでもうまくいかない場合は、ケーブルテスト機器の電源を切り、再度電源を入れてください。その後、機器を再接続し(4.2項参照)、再度ライブトレースボタン(㊟)をクリックしてください。

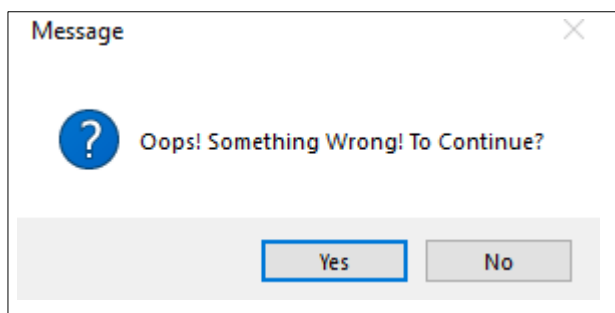
Q5: ライブトレースを実行すると、以下のようなメッセージボックスが表示されます。



回答

データストリームが一部途切れていることが原因です。ライブトレースボタン(㊟)をクリックして再度お試しください。

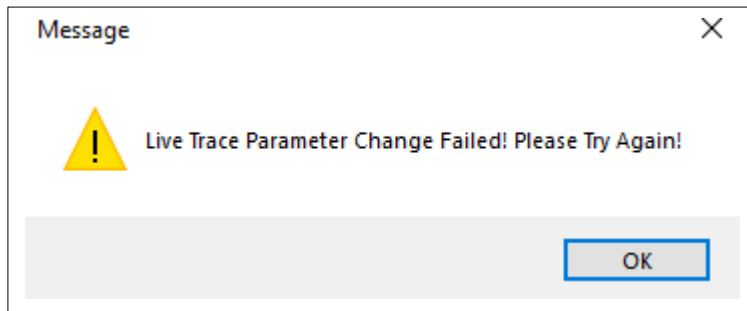
Q6: ライブトレースを実行していると、次のようなメッセージボックスが表示されます。



回答

1. “Yes”ボタンをクリックしてください。
2. “Yes”ボタンをクリックしてから3秒後にメッセージボックスが表示され続ける場合は、“No” ボタンをクリックしてライブトレースモードを停止し、次の事項をご確認ください。
3. PCと本機のUSB接続を確認してください。
4. 正しい COM ポートが選択され、リンクされているか確認してください。（4.2 項参照）
5. ケーブルテスト機器の画面にトレースが表示されているか確認してください。表示されている場合は、測定器のホームページに戻り、ライブトレースボタン(㊦)を再度クリックしてください。
6. それでもうまくいかない場合は、ケーブルテスト機器の電源を切り、再度電源を入れてください。その後、機器を再接続し(4.2 節参照)、再度ライブトレースボタン(㊦)をクリックしてください。

Q7: ライブトレースの実行中にVPや範囲を変更すると、次のようなメッセージボックスが表示されます。



回答

- 1.再度、VPや範囲の変更をお試しください。
- 2.うまくいかない場合は、ライブトレースを停止して、VPまたはレンジを変更し、再度ライブトレースを開始してください。

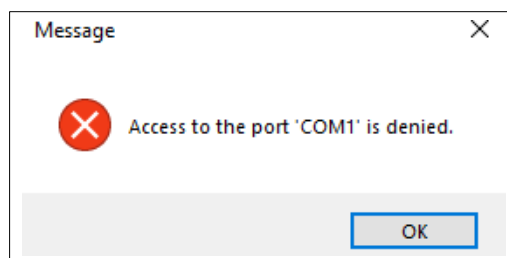
Q8: 選択したトレース結果を装置にアップロードするために “Trace Upload” ボタンをクリックしても、プログレスバー(⑦)が常に空欄で、他の箇所にも変化はありません。

Q9: 選択したトレース結果を装置にアップロードするために “Trace Upload” ボタンをクリックすると、「Start to Upload…」というメッセージボックスが表示され、プログレスバー(⑦)が表示されます。しかし、プログレスバー⑦がしばらく止まったままで、他の箇所にも変化はありません。

回答

1. PCと測定器のUSB接続を確認してください。
- 2.正しいCOMポートが選択され、リンクされているか確認してください。
(4.2項参照)。
3. ケーブルテスト機器の画面にトレースが表示されているかどうかを確認してください。表示されている場合は、測定器のホームページに戻り、再度“Trace Upload” ボタン(②⑥)をクリックしてください。
4. それでもうまくいかない場合は、測定器の電源を切り、再度電源を入れてください。その後、4.2項を参照して機器を再接続し、再度“Trace Upload” ボタン(②⑥)をクリックしてください。

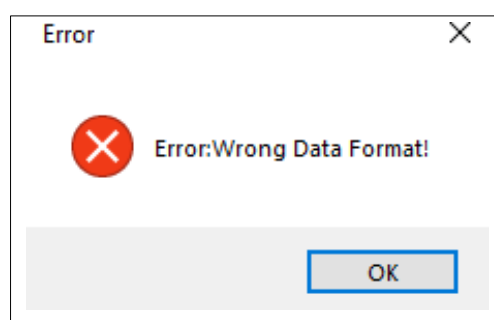
Q10: 選択したCOMポートを接続しようと“Link”ボタン（⑤）をクリックすると、以下のようなメッセージボックスが表示されます。



回答

選択したCOMポートが、現在PC上で動作している他のソフトウェアによって占有されていることが原因です。お手数ですが、他のソフトウェアを終了してから再度“Link”ボタン（⑤）を押してください。

Q11: バイナリファイル（.bin）をTraceXtra-Proで開く（ロードする）と、以下のようなメッセージボックスが表示されます。



回答

選択した機器とは異なる機器で作成されたバイナリ(.bin)ファイルであることが原因です。正しい機器を選択しているか、正しいバイナリ(.bin)ファイルを選択しているかどうか、ラベル(⑮)で確認してください。